

男女がよきパートナーとして共に生きるために

武雄市男女共同参画計画 策定委員を募集します

武雄市では、来年度「男女共同参画計画」を策定します。性別にかかわらずあらゆる分野への参画や、一人ひとりの個性と能力が発揮できる男女共同参画社会を実現するため、市民の皆様と一緒に、より武雄らしい計画にしたいと思えます。12月から策定作業を始めますが、下記により一緒に計画づくりをしていただける方を募集します。

あなたの力で男女共同参画を進めませんか？

(計画策定までには全体会・分科会等を開催し、委員相互の話し合いで作業を進めていただきます。会議時間等は委員の都合で設定していただく予定です。)

- ◆ 応募資格・・・男女共同参画社会づくりに関心のある方で、市内在住または市内に勤務する20才以上の人
- ◆ 募集人員・・・5人
- ◆ 応募方法・・・氏名、年齢、性別、住所、電話番号、応募動機(200字程度)を沿え、下記へ提出下さい。
- ◆ 応募締め切り・・・11月20日(月)
- ◆ 申込・問い合わせ先・・・企画部男女共同参画課
(電話：23-9141 fax：23-3816 Eメール：danjyo@city.lg.jp)



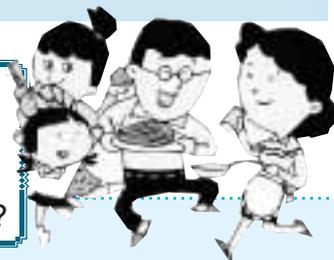
担当：綿島

「わたしの思う男女共同参画」

シリーズ
3

～市内のあちこちで、男女共同参画へのご意見を伺いました～

★質問：武雄市では、男女共同参画社会づくりは進んでいると思えますか？



☆回答：どちらかといえば進んでいると思う

☆意見

男女共同参画の社会づくりを、社会という大きな単位でみてしまうと、まだまだのように思えますが、家庭という小さな社会単位では、男女の介護や家事・育児にたいする固定的な役割というものは少しずつですが変化していると思えます。

男だから、女だからという決め付けは私も嫌いです。お互い認め合いよりよい家庭をつくるパートナーとして役割分担ができることが理想だと思います。

ただ、家庭以外の単位で見た場合は、形だけの場合が多く、俗に言う「男らしく」「女らしく」が引き合いにだされ、うまく役割分担できない場合が多いようです。

それぞれのライフスタイルで、男女の役割は変化していくと思えますが、固定的な分担意識を改める必要があると思えます。

会社役員

山口 修代さん(武雄町)

☆回答：どちらともいえない

☆意見

今年は私を含めて2人目、3人目を出産するお母さんが多い気がします。出産の時、一番気掛かりなのは上の子の世話です。保育園を利用できますが、やはり頼りになるのは夫です。うちでも夫が産後一週間は二歳になる娘の精神的なケアを心がけてくれました。しかし、夫が会社に行くようになると、娘は一日中泣いて、パニックを起こすようになりました。結局、保育園を止めさせ、病み上がりの夫の祖母が娘の面倒をみてくれました。夫の会社では育児休暇を取った男性社員は一人もないそうです。最近、核家族が増え、出産の時に両親が高齢や病気などで、子供を預けられない場合もあります。同居から核家族へと変わるのと同様に、会社の中も考え方が変わる必要があると思えます。



主婦

山口 直子さん(山内町)

「男女共同参画に関する市民アンケート調査」へのご協力ありがとうございました。(10月1日～10月16日実施)